

大学等進学時における転入・転出の状況について

1 要旨

文部科学省「令和5年度学校基本調査」に基づく、大学等（大学・短期大学）進学時における転入・転出の状況について報告する。

2 現状・背景

令和5年度の大学等進学時における転出超過は、前年度から2人減の1,689人

3 概要

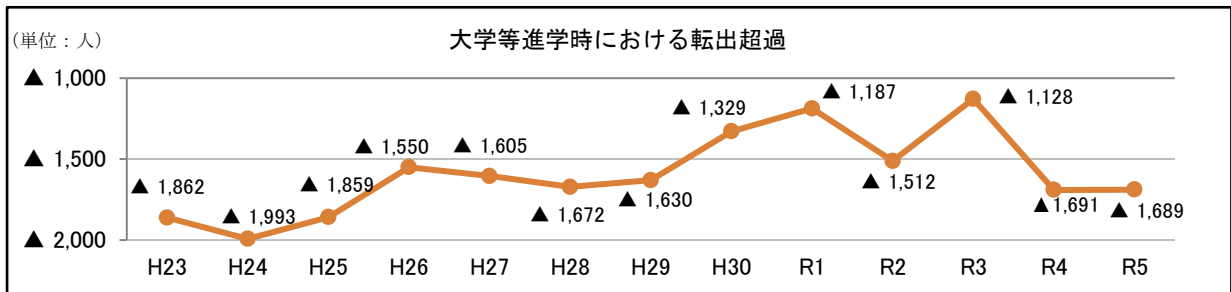
(1) 調査対象 令和5年5月1日現在、大学等に在籍している新入生

(2) 調査結果

ア 転入・転出の状況

(単位：人)

年度	県内高校から 県内大学等へ 【地元入学】	県外高校から 県内大学等へ 【転入】(A)	県内高校から 県外大学等へ 【転出】(B)	転出超過 (A-B)	対前年増減
R4	8,293	5,613	7,304	▲1,691	-
R5	8,119	5,449	7,138	▲1,689	2



イ 要因・分析

- 本県では、県内高校を卒業して大学等へ進学した学生『15,257人』に対して、県内大学等の入学定員は『14,284人』となっており、定員充足率100%と仮定した場合においても、その差973人の転出超過を生じる状況にある。
- こうした中、令和5年度は、大学等進学者数が減少(▲340人)する一方、定員充足率の低下等により、前年度並みの1,689人の転出超過が生じた。

・定員充足率の低下

県内大学等の定員充足率は95.0%で、前年度から2.6ポイント低下

➤ 県内大学等の定員充足率 R4 97.6% → R5 95.0% ~ ▲2.6%

・大学等進学率の上昇

国の修学支援新制度の拡充や新型コロナ感染拡大後の経済情勢の影響を受けて、大学等進学率が上昇(就職率は低下)

➤ 大学等進学率 R4 62.5% → R5 63.5% ~ +1.0%

➤ 大学等進学者 R4 15,597人 → R5 15,257人 ~ ▲340人・▲2.2%

4 その他（関連情報等）

